

8月23日 (月曜日)

第2575号 平成15年10月27日
(第三種郵便物認可)

2021年(令和3年)

©新日本流通新聞社

日本流通新聞

トラック 好評な抗菌ウイルス施工



運転室内をくまなく散布する

極東運輸

新型コロナウイルス感染拡大が
猛威を振るう中、公共交通
通において車内の抗菌処
理は今やマスト。いまだ
敬遠する利用者も多く、
事業者の継続した安心安
全な輸送環境への取り組
みが求められる。
トラック運送業界も運
転者保護、荷主を守る観
点から、運転室内の抗
菌・抗ウイルス・消臭施
工など対応を強化する動



運転者守り荷主に信頼を

きが目につく。

川崎市に本社を置く、
極東運輸(小谷哲雄社長)
はこのほど、総合商社で
あるコスモ技研(本社
東京都台東区、吉川昌孝
社長)と正規代理店契約
を締結し、トラックをは
じめ営業車に対するウイ
ルス抗菌コーティング施
工を始めた。
タンクローリー検査所
を併設する同社では、タ
ンクの定期検査の際に、
運転席内のウイルス抗菌
施工を勧めている。5日
間のタンク検査期間内に
抗菌処理を施し、1日間
の定着期間をもって検査
を完了させる流れ。
施工は、無効触媒SK
YBE-783をエアア
プランによりミスト状に車
内をくまなく散布。太陽
光を必要とせず、空気が
えあれば暗所や密閉され
た場所でも反応する触媒
(リン酸チタニア)で、
運転室内のガラス、座席
はもとより、場所を問わ
ず消臭効果も絶大だ。効
果は5年間持続し、急性
経口毒性、変異原性、皮
膚刺激性、ウイルス活性
化、抗菌性などのトライ
アルで十分なエビデンス
が証明されている。新型
コロナウイルス変異株に
効果も。

施主の要望は何より、
運転者の感染防止。車両
を共有する機会が増え、
運転者を守る環境と、荷
主に対して更なる信頼を
得る差別化に狙いがあ
る。一方、同様に代理店
契約を開始した東京ユニ
オン物流(本社東京都
武蔵村山市、川崎和夫社
長)では自社車両に対し
施工を始め、顧客が興味
を表していることから、
今後本格的な事業を目指
すと意欲を示す。
施工完成時は、ルミナ
スターを用いて結果を見
える化でき、要望に応じ
てデータを記した「施工
報告書」の発行を行い顧
客からの信頼性は高い。

施工済みを示す車体
ステッカー